



富山大学学報

第146号

(昭和47年10月・11月号)

目次

関係法令	1
学内規則	1
富山大学職員の財産形成貯蓄関係事務取扱要項	1
諸会議	4
人事異動	4
学内諸報	5
文部省人事事務監査	5
文部省永年勤続者表彰	5
海外渡航者	5
学位取得者	6
叙勲	6
学内レクリエーション	6
富山地区R連盟大会	6
職員消息	7
主要日誌	7

関係法令

(官報掲
載月日)

法律

- 一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律(118) 11・13

政令

- 予算決算及び会計令の一部を改正する政令(395) 11・9

省令

- 旅券法施行規則の一部を改正する省令(外務10) 10・2
- 学校教育法施行規則の一部を改正する省令(文部46) 10・27

- 債権管理事務取扱規則の一部を改正する省令(大蔵76) 11・13

規則

- 現行の法律、命令及び規則の廃止の一部を改正する規則(人事院1-4) 11・13
- 俸給の調整額の一部を改正する規則(同9-6) 11・13
- 初任給、昇格、昇給等の基準の一部を改正する規則(同9-8) 11・13
- 通勤手当の一部を改正する規則(同9-24) 11・13
- 特殊勤務手当の一部を改正する規則(同9-30) 11・13
- 初任給調整手当の一部を改正する規則(同9-34) 11・13
- 教職調整額の支給方法等の一部を改正する規則(同9-57) 11・13
- 沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律の規定による特別の手当等の一部を改正する規則(同9-59) 11・13
- 最高号俸等を受ける職員の俸給の切替えに関する規則(同9-60) 11・13

訓令

- 国立大学の附属図書館に置く分館を定める訓令の一部を改正する訓令(文部47) 10・2
- 文部省所管旅費規則の一部を改正する訓令(同48) 11・21

告示

- 旅券法第3条第5項の規定に基づき、数次往復用の一般旅券の発給を申請することができない渡航先の範囲の指定に関する件等の一部を改正する件(外務206) 10・2
- 無線従事者国家試験の一部を免除する学校を認定した件(郵政813) 10・9
- 小学校学習指導要領等の一部を改正する件(文部148) 10・27

学内規則

富山大学職員の財産形成貯蓄関係事務取扱要項

1. 趣旨

富山大学(富山大学経営短期大学部を含む)職員の勤労者財産形成促進法(昭和46年法律第92号)(以下「財形法」という。)に基づく財産形成貯蓄(以下「財形貯蓄」という。)関係事務の取扱いについては、法令その他特別の定めによるもののほか、この要項の定めるところによる。

2. 財形貯蓄の要件

- (1) 財形法第6条の規定に基づく預貯金等（以下「預貯金等」という。）の預入，信託または購入（以下「預入等」という。）の1回あたりの金額は1,000円の整数倍とし，預入等の1回あたりの金額は，俸給支給日または期末勤労手当支給日ごとにそれぞれ同額とする。
- (2) 預入等は，次に掲げる日のいずれか一を選んで継続的に行なうものとする。
 - ア 俸給支給日
 - イ 期末勤労手当支給日（3月期末手当支給日を除く。以下同じ。）
 - ウ 俸給支給日および期末勤労手当支給日
- (3) 財形貯蓄申出の期間および預入開始日

申出期間	預入開始日
6月1日～6月10日	7月俸給支給日または12月期末勤労手当支給日
12月1日～12月10日	1月俸給支給日または6月期末勤労手当支給日

- (4) 財形貯蓄契約の申込みは，1金融機関の1店舗に限って行ない，かつ，預貯金等の種類は1種類とする。
- (5) 契約金融機関等は大学が定める。

3. 財形貯蓄契約

財形法第6条の規定に基づく財産形成貯蓄契約（以下「財形貯蓄契約」という。）を希望する職員は，金融機関等の定める財形貯蓄契約に関する申込書（以下「財形貯蓄契約申込書」という。）に別紙様式1の財産形成貯蓄天引預入依頼書を添付して，庶務部人事課能率係（以下「能率係」という。）に提出するものとする。

4. 幹事金融機関等の選定および協力

- (1) 財形貯蓄に関する事務を円滑に行なうため，原則として業態ごとに各金融機関等と能率係および経理部経理課給与係（以下「給与係」という。）との連絡調整を行なう金融機関等（以下「幹事金融機関等」という。）を各1社選定する。
- (2) 幹事金融機関等は，次に掲げる事務に関し協力するものとする。
 - ア 財形貯蓄契約申込書ならびに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第4条の2に規定する財産形成非課税貯蓄申込書および同申告書（以下「財産形成非課税貯蓄申告書等」という。）を職員が財産形成貯蓄契約を希望する金融機関等へ送付すること。
 - イ 職員が財形貯蓄契約を締結した金融機関等（以下「契約金融機関等」という。）が作成した契約者ごと

に交付する財形貯蓄契約の証を能率係へ送付すること。

- ウ 財形貯蓄にかかる給与からの控除預入等を行なうための明細書（以下「控除額明細書」という。）について，能率係または給与係と契約金融機関等との相互間における送付のとりつぎを行なうこと。
- エ 給与係から預入等の相当額を受け取り，すみやかに契約金融機関等へ振り込むこと。
- オ 契約金融機関等が作成する預貯金等の残高報告書を取りまとめて，能率係へ提出すること。
- カ その他，必要な書類の送付，連絡事項の伝達等を行なうこと。

5. 預貯金等の預入等

- (1) 能率係は，控除額明細書を契約金融機関等に作成させ，預入等を行なう日のおおむね15日前までに給与係へ送付するものとする。
- (2) 能率係は，控除額明細書を預入等を行なう日の5営業日前までに，幹事金融機関等を経て契約金融機関等へ送付するものとする。
- (3) 給与係は，控除額明細書に基づいて財形貯蓄契約を締結している職員の給与から預入等の相当額を控除し，これを幹事金融機関等に支払い，幹事金融機関等は契約金融機関等へ払い込むものとする。

6. 記録簿の作成および管理

能率係は，財形貯蓄の状況を把握するため別紙様式2の財産形成貯蓄記録簿（以下「記録簿」という。）を職員別に作成し管理するものとする。

7. 非課税関係事務

- (1) 職員が財形法第8条の規定に基づく課税の特例を受けようとする場合は，財形貯蓄契約申込書とあわせて財産形成非課税貯蓄申告書等を能率係に提出するものとする。
- (2) 能率係は，職員から財産形成非課税貯蓄申告書等の提出があった場合は，確認のうえそれを幹事金融機関等を経て契約金融機関等へ送付するものとする。

8. 財形貯蓄契約内容の変更等

- (1) 職員が財形貯蓄に関する契約書に記載された住所，氏名，勤務先の変更ならびに財形貯蓄契約の解約をしようとするときは，その都度当該契約金融機関等が定めたとおりの書類に必要事項を記入のうえ，すみやかに能率係に申し出るものとする。
- (2) 預入等の1回あたりの金額，預入等の日，預貯金等の種類の変更等前記(1)に定めるもの以外の財形貯蓄契約の内容を変更しようとする場合は，当該契約金融機関等が定めたとおりの書類に必要事項を記入のうえ，

毎年12月1日から12月10日までに能率係に申し出るものとする。

(3) 印鑑の変更、払出および能率係が別に定めるものについては、能率係に対する申出を要しない。

(4) 能率係は、職員から前記(1)および(2)に定める財形貯蓄契約の内容の変更または解約の申出を受けた場合には、記録簿の該当事項を訂正または削除するとともに、すみやかに関係書類を幹事金融機関等を経て契約金融機関等へ送付するものとする。

9. 預貯金等の残高報告

能率係は、毎年2回特定の時期に預貯金等の現在高に関し、契約金融機関等から職員別の預貯金等の残高報告書を提出させこれを財形貯蓄契約を締結している職員に配布するものとする。

10. 人事異動の場合の取扱

財形貯蓄契約を締結している職員が他の官署に異動し

た場合であって、当該職員にかかる財形貯蓄契約の継続が可能であるときは、能率係は、当該財形貯蓄に関する書類を異動先官署にすみやかに送付するとともに、異動した旨を当該幹事金融機関等を経て当該契約金融機関等へ通知するものとする。

11. 経由機関

財形貯蓄契約に関する書類を、職員が能率係に提出する場合または、能率係が職員に配布する場合は、各学部、教養部、附属図書館および経営短期大学部にあつては、それぞれ所属する部局の庶務係または総務係を経由するものとする。

12. その他

この要項に定めるもののほか、財形貯蓄関係事務の取扱に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要項は、昭和47年11月20日から施行する。

別紙様式 1

財産形成貯蓄天引預入依頼書

昭和 年 月 日

富山大学資金前渡官吏 殿

所属部局

氏 名 ⑩

私は、財産形成貯蓄をしたいので、下記により給与から天引し
て預入くださいますよう依頼いたします。

記

1. 天引預入期間 昭和 年 月 日から
昭和 年 月 日まで
2. 預入時期および金額 俸給支給日 円
期末勤勉手当支給日 円
3. 金融機関等名

別紙様式 2

財産形成貯蓄記録簿

No. _____

住所 _____

フリガナ	
氏名	
コード番号	
所属部局	
コード番号	

事項 (契約・変更) (解約)	年月日	契約金融機 関等の名称	預貯金等 の種類	1回あたりの預入額		天引預入開始日 (預入期間)	備考
				俸給	期末勤 勉手当		
				千円	千円		

諸 会 議

第9回評議会(10月31日)

〔報告事項〕

- (1) 昭和47年9月卒業の認定について
- (2) 昭和47年9月富山大学大学院薬学研究科(修士課程)修了の認定について

- (3) 富山大学医学部設置検討委員会について
- (4) 東海北陸地区国立大学長会議について

〔審議事項〕

- (1) 教官人事について(経済学部)
- (2) 卒業の認定について(工学部)
- (3) その他

イ 学内状況について

第10回評議会(11月17日)

〔報告事項〕

- (1) 国大協第3常置委員会について

〔審議事項〕

- (1) 教官人事について(教育学部)

- (2) 昭和48年度富山大学学生募集要項および富山大学案内について
- (3) 昭和48年度富山大学理学専攻科学生募集要項について
- (4) 昭和48年度富山大学経済学専攻科経理経営専攻学生募集要項について
- (5) 学内の状況について

第6回事務協議会(11月18日)

〔議題〕

- (1) 財形貯蓄について
- (2) 職組の動向について

第7回事務協議会(11月24日)

〔議題〕

- (1) 第18回東海北陸地区国立学校庶務部課長会議について
- (2) 第42回東海北陸地区国立学校等会計部課長会議について
- (3) 第22回東海北陸地区国立学校施設担当部課長会議について
- (4) 宿日直問題について

人事異動

現官職	氏名	異動内容	発令年月日	発令者
	廣田 實	教授(工学部)に採用する	47. 10. 1	文部大臣
	小原 久治	助教授(経済学部) "	"	"
	松山 政夫	文部技官(文理学部) "	"	富山大学長
助(工学部)手	能登谷 久公	講師(工学部)に昇任させる	"	"
文部技官	袋谷 賢吉	助手(") "	"	"
	高尾 清美	事務補佐員(経済学部)に採用する	47. 10. 9	"
	川田 道子	事務補佐員(教養部)に採用する	47. 10. 18	"
講(経済学部)師	小松 和生	助教授(経済学部)に昇任させる	47. 11. 1	文部大臣
文部技官	南 立作	助手(工学部) "	"	富山大学長
文部事務官	高島 睦子	富山商船高等専門学校に出向させる	"	"
	栗林 繁治	臨時用務員(教育学部作業員)に採用する	47. 11. 10	"
	田盛 一枝	" (") "	"	"
文部技官	福村 一男	施設課汽かん士に併任する (併任の期間48. 4. 10まで)	"	"
(薬学部)	砂子田 仙吉	(")	"	"
(工学部)	松丘 健治	(")	"	"
技能補佐員	吉野 光雄	施設課汽かん士に併任する (併任の期間48. 3. 30まで)	"	"
助(経済学部)教	瀧 好英	教授(経済学部)に昇任させる	47. 11. 16	文部大臣
文部事務官	野田 敏明	日本芸術院に出向する	"	富山大学長
文部事務官	塚田 健夫	経理部経理課に配置換する	"	"

学内諸報

文部省人事事務監査

文部省による人事事務監査は、10月23日本部会議室で実施された。

監査は、主に昭和42年度以降の退職手当支給、公務災害補償事務関係について文部省大臣官房人事課福祉班厚生係長松永新、同恩給係長金坂勲の2監査官により行なわれた。

文部省永年勤続者表彰

昭和47年度文部省永年勤続者として、次の2氏が表彰され、11月22日学長室において、表彰状ならびに記念品が伝達された。

経理部経理課長 野村 学
 附属図書館事務長 永田 佐一

海外渡航者

氏名	所属	官職	渡航の種類	渡航先国	目的	期間
若林 嘉一郎	工学部	教授	外国出張	アメリカ合衆国	・第60回全米安全会議出席 ・米国における公害と安全工学の視察	47.10.28 47.11.19
難波 恒雄	薬学部	教授	外国出張	ネパール、タイ、香港	・第4回アジア薬学会出席 ・ネパール、タイ、香港の生薬事情調査	47.11.29 47.12.24

学位取得者

取得者 工学部講師 小島 政明
 取得学位 工学博士(東北大学)
 取得年月日 昭和47年11月1日
 学位論文 形式言語の変換に関する研究

叙 勲

本学名誉教授大島文雄氏、同桑田秋水氏に昭和47年度秋の叙勲者として次のとおり勲章が授与された。

大島 文雄 勲二等端宝章
 桑田 秋水 勲三等旭日章

学内レクリエーション

▶教職員作品展

第9回教職員作品展は、11月6、7、8日の3日間学生会館第1、第2、第3集会室を会場として開催された。

会場には外国人教師シャイフェレ氏的水彩画6点を含む文化部会各班員の力作 110点が出品展示され、教職員学生多数の参観者で賑わった。

また、4日正午から職員ホールでは茶道班による茶会が一般教職員多数参加のもとに催され、日頃の成果が披露された。

作品展出品者は、次のとおり

〈華道班〉

大場 文子	清田 博子	柴田富美枝
森田タミ子	大橋 明美	有沢 郁子
渡辺登美枝	岩城 恭子	山本 昭子
平林 富子	吉田 紀子	杉本 千代
和田 キク	高尾 貢	
田島 スミ	増田 信子	

〈手芸班〉

高安 芳枝	平野美智子	松原 薫
大場 文子	坂東 康子	小川 君子
石井チイコ	和田 キク	辻堂 清
新村 栄子	家納トミ子	石黒 寿子
広田 吏子	金岡スミ子	中川 栄子
渡辺登美枝	見角 紀代	牧野智恵子
柳田 寿美	竹岡 環	高瀬久美子
盛田 律子	田島 スミ	矢後 和子
杉本 良子	御福 富子	

〈書道班〉

柴田富美枝	桜井 雅楽	高崎 公文
若林 良吉	平岩 広一	森井 章
高瀬 重雄	泉田 利享	高瀬久美子

〈絵画班〉

竹内豊三郎	エーベルハルト	二宮 英治
小黒 千足	・シャイフェレ	開発 勝 (魚拓)
高安 紀	中谷 唯一	
田村 与一	高塚 清文	関場 貞子
岩城 広光	藤岡 和典	斉藤 義康

(写真班)

楠 喜一	中谷 唯一
北林 恒好	黒田 信吉

(盆景班)

大場 文子	石井チイコ	森田美喜子
高安 芳枝	柴田富美枝	結城 敏
森田タミ子	清水 麗子	
山本 侑子	荒屋 克子	



▶野球大会

実施月日 10月7日(土)
 場 所 工学部グラウンド
 入 賞 優勝 文理・教養チーム
 次勝 工学部チーム

▶ゴルフ大会

実施月日 10月8日(日)
 場 所 呉羽カントリークラブ
 入 賞 優勝 宮下 和雄(工)
 次勝 三上 房男(工)
 三位 草島 幸雄(本)

富山地区R連盟大会

▶釣大会

実施月日 10月29日(日)
 場 所 新湊市堀岡地内
 入 賞 団体 優勝 富山大学
 次勝 労働基準局
 個人 優勝 淵 勝次(富山地方裁判所)
 伊藤紀男(富山大学)

▶ボウリング大会

実施月日 11月18日(土)

場 所 ボウル102

入 賞 団体 優勝 富山地方検察庁 1,433点
個人 HG賞 井城小三郎(富山大学)
200点

職員消息

＜新任者＞

経済学部

事務補佐員 高尾 清美

教養部

事務補佐員 川田 道子

＜改 姓＞

事務局

事務補佐員 石黒千佳子 (旧姓 奥井)

事務補佐員 高塚ノブ子 (旧姓 石黒)

経済学部

助 教 授 小松 和生 (旧姓 小松)

＜住所変更＞

事務局

事務補佐員 石黒千佳子

事務補佐員 高塚ノブ子

教養学部

教 授 入沢 寿夫

工学部

教 授 室町 繁雄

講 師 岩城 敏博

＜住居表示変更＞

事務局

文部事務官 高木 行則

文部事務官 村井 弘

文部事務官 伊藤 信一

学生部

文部事務官 森田 弘

教育学部

教 授 小沢慎一郎

講 師 中川 孝

文部事務官 中林 邦夫

薬学部

文部事務官 田近 俊之

工学部

助 教 授 藤田 宏

主要日誌

本 部

10月3～5日 第10回全国厚生補導研究集会(於 国立能登青年の家)

5日 第1回医学部設置検討委員会
第7回補導協議会

8日 学内ゴルフ大会(於 呉羽カントリー)

11～14日 昭和47年度第1回国立学校幹部職員研修(於 国立教育会館)

19日 大学改革準備委員会合同委員会

19～20日 第9回東海北陸地区国立大学事務局長会議
(於 福井大学)

20日 学園ニュース編集委員会

23日 文部省人事事務監査(退職手当等)

文部省共済組合運営審議会委員による本支部視察

24～25日 第8回39国立大学経理部長会議(於 広島大学)

24～27日 昭和47年度文部省共済組合年次監査

昭和47年度第2回厚生補導研究協議会(於 人材開発センター富士研修所)

25日 第10回東海北陸地区国立大学事務局長会議(於 静岡大学)

25～27日 第19回東海北陸地区国立大学長会議(於 静岡大学)

26～27日 第22回東海北陸地区施設担当部課長会議(於 福井大学)

29日 第3回北信越学生秋期陸上競技大会(於 富山県営陸上競技場)

30～31日 文部省技術監査

31日 第9回評議会

11月1～2日 第11回東地区国立大学学生会館運営協議会
(於 名古屋大学)

3日 北信越学生弓道選手権大会(於 福井大学)

- 6～9日 昭和47年度全国厚生補導職員研修会（於 東京商船大学附属臨海実習施設）
- 9日 第3回入学試験管理委員会
- 9～10日 第10回全国大学保健管理研究集会（於 徳島県郷土文化会館）
- 第42回東海北陸地区国立学校等会計部課長会議（於 国立遺伝学研究所）
- 11日 国大協第3常置委員会（於 国立教育会館）
- 13日 大学改革準備委員会合同委員会
- 14～15日 第18回東海北陸地区国立学校庶務部課長会議（於 名古屋工業大学）
- 16日 昭和47年度奨学事務研究会
- 17日 第10回評議会
- 第2回医学部設置検討委員会
- 18日 R連盟富山地区ボウリング大会（於 ボウル102）
- 第6回事務協議会
- 19日 R連盟富山地区釣大会（於 新湊市堀岡地区）
- 20日 大学改革準備委員会合同委員会
- 21日 第3回医学部設置検討委員会
- インフルエンザ予防接種（1回目）
- 23～26日 北信越大学バレーボール秋期選手権大会（於 富山大学）
- 23～27日 北陸三県大学学生交歓芸術祭（於 金沢大学）
- 24日 第7回事務協議会
- 授業料減免選考委員会
- 第8回補導協議会
- 27日 大学改革準備委員会合同委員会
- 学園ニュース編集委員会
- 28日 インフルエンザ予防接種（2回目）
- 28～29日 国大協第51回総会（於 学士会館）
- 29日 第5回全国国立大学事務局長会議（於 学士会館）
- 29～30日 第43回東海北陸地区国立大学学生部課長会議（於 新熱海ホテル）
- 30日 国大協第18回事務連絡会議（於 学士会館）

文 理 学 部

- 10月4日 教授会
- 7日 理学科3年次前学期授業終了
- 12日 胃の検査（第2次）
- 18日 教授会
- 人事教授会
- 学部補導委員会

- 23日 文学科後学期授業開始
- 25日 理学科4年次前学期授業終了
- 国立17大学理学部長会議（於 国立教育会館）
- 学部図書委員会
- 11月1日 学部職業補導委員会
- 6日 理学科3年次後学期授業開始
- 9日 理学科4年次後学期授業開始
- 13日 学部補導委員と理学科教官との合同会議
- 29日 学部補導委員と理学科教官との合同会議
- 30日 理学科教官会議

教 育 学 部

- 10月2～11日 附属小学校、附属幼稚園教育実習
- 3～4日 附属中学校1年生修学旅行
- 5日 学部図書委員会
- 6日 紀要編集委員会
- 7～12日 附属中学校3年生修学旅行
- 10～12日 附属中学校2年生修学旅行
- 11日 教務委員会
- 学部補導委員会
- 教務、補導合同委員会
- 12日 幼稚園設置準備委員会
- 胃の検査（第2次）
- 13日 紀要編集委員会
- 14～23日 附属中学校教育実習
- 17～19日 附属小学校6年生修学旅行
- 18日 教授会
- 教務委員会
- 附属小学校1～5年生遠足
- 24～11月1日 附属小・中学校特殊学級教育実習
- 11月1日 教務委員会
- 教授会
- 2日 幼稚園教員養成課程設置準備委員会
- 10～11日 全国国立学校附属学校連盟北信越地区協議会（於 附属学校）
- 15日 人事教授会
- 17日 補導委員会
- 19日 附属小学校父親学級
- 20日 附属中学校、幼稚園インフルエンザ予防接種（1回目）
- 21日 附属小学校インフルエンザ予防特種（1回目）
- 22日 教務委員会

教授会

附属小・中・幼X線間接撮影

27日 附属中学校インフルエンザ予防接種(2回目)

29日 予算委員会

附属小学校, 幼稚園インフルエンザ予防接種
(2回目)**経済学部**

10月4日 第16回教授会

第10回教務委員会

5日 学生大会, 無期限ストライキ決議

6日 第17回教授会(持ち廻り)

11日 第6回人事教授会

20日 学生大会

23日 第11回教務委員会

11月2日 学生大会

7日 学生大会

14日 学生大会

16日 第7回人事教授会

21日 学生大会, 無期限ストライキ解除

24日 第18回教授会

薬学部

10月4～5日 全国国立大学薬学部事務長会議

(於 東京大学)

9日 日本薬理学会北部支部例会

12日 胃の検査(第2次)

16日 後期授業開始

18日 教授会

24日 学部補導委員会

28日 触媒学会富山地区講演会

11月1日 教授会

7日 教務委員会

8日 教授会

10日 教授会

11日 学部レクリエーション(浮田家, 神通第二発電
所等見学)

14日 補導委員会

15日 研究科委員会

18日 教授会

20日 教務委員会

21日 教授会

工学部10月4～5日 全国国立工業大学・国立大学工学部事務協
議会

9日 一般教授会

14日 学科主任会議

16日 教務委員会

17日 工学部紀要編集委員会

20日 学部学生3・4年次, 大学院学生後学期授業開
始

25日 一般教授会

専任教授会

研究科委員会

11月1日 研究科委員会

15日 一般教授会

研究科委員会

17日 学部学生(補導)委員会

工学部教職員厚生事業運営委員会

21日 X線間接撮影

インフルエンザ予防接種(1回目)

24～25日 工学部教職員文化祭

27日 防火訓練

28日 インフルエンザ予防接種(2回目)

29日 学科主任会議

教養部

10月3日 補導委員会

4日 教授会

11日 教務委員会

17日 学生大会(18日よりストに入る)

18日 教授会

25日 教授会

教務委員会

補導委員会

11月1日 教授会

2日 説明集会

8日 教授会

13日 教務委員会

15日 補導委員会

教授会
 紀要委員会
 20日 教授会
 24日 教務委員会
 29～30日 第8回12大学教養部長会議（於 鹿児島
 大学）

附属図書館

10月11日 レファレンス・ルーム小委員会
 商議會
 12日 胃の検査（第2次）
 13日 事務打合せ会
 30日 商議會
 31日 事務打合せ会

経営短期大学部

10月1日 後期授業開始
 5～10日 経短祭（学友会主催）
 24日 後期授業料減免選考委員会
 第7回教授会
 11月28日 第8回教授会

訂 正

学報第145号（昭和47年8月・9月号）3頁の海外渡航者のうち期間等を次のように訂正します。

	誤	正
竹内豊三郎	アメリカ出衆国	アメリカ合衆国
	47・8・17	47・8・17
	}	}
	48・9・3	47・9・3
長谷 純一	47・9・21	47・9・21
	}	}
	48・11・20	47・11・20

編集 富山大学庶務部庶務課
 富山市五福3190
 印刷所 第一共同印刷株式会社
 富山市太郎丸1220-2
 電話 ㊦ 0196(代)